

たかちほ

議会だより

2025
令和7年

7.24

No.127



P2 特集 障がい者福祉の現状と今後の課題

P4 子育て支援充実を図る

P7,9 行政調査報告

P14 高千穂鉄橋 重要文化財指定を目指す

「 成長楽しみ!! 」

撮影：下川登子ども会

下川登青年部と子ども会の合同企画。
今年で11回目の田植えとなりました。
米ではなく、もち米を植えています。



会議録はコチラ



障がい者福祉の現状と今後の課題

重い障がいを抱えた人の
将来について考えたことはありますか

特集



事業所の活動発表を行う
佐藤所長

親は、子どもの成長を見届け他界することが多いですが、我が子が重い障がいを抱えていた場合、先立つ親の心境はどうでしょうか。高齢者に対する社会福祉は、一定の支援制度が確立されている現代において、障がい者・児への支援は、まだまだ整備が不十分です。地方自治体では、障がい者・児を取り巻く環境は過疎化・少子高齢化で、さらに深刻な状況に陥っています。その様な現状を一步会さんの協力のもと、特集記事として町民の皆様にお伝えします。

NPO法人 一步会の方々と語る



茶道を嗜んでおります

自分達の子どもの
地域で暮らしていけるのか

一步会は約30年前に、ママ友で結成しました。情報交換や勉強会、研修・視察に行き、どうすれば自分達の子どもが地域で暮らしていけるのかを模索していました。子どもが成長し学童期の終わり頃、本人の力だけでは親から巣立つことができない子ども達の居場所を作るために、小規模作業所『一步』を立ち上げました。

西臼杵で唯一の 生活介護事業所

平成23年から職員を雇用し、障害福祉サービスとして新たなスタートをしました。西臼杵地区には、障害福祉サービスが6事業所あり、※B型事業所が4箇所、※A・B多機能型が1箇所、残りの一つが西臼杵で唯一の生活介護事業所である『一步』です。行動に著しい障がいや、コミュニケーションが苦手、意思表示ができない、全盲の方など、いわゆる障がいの重い方が本町から12人、日之影町から5人通所されています。



美味しいと評判の一步会の給食



充実した日中を
過ごす場所は
できたか

本人と家族のニーズに応えるため、生産活動から創作活動・音楽活動など多岐にわたるプログラムを構成し、充実した日中を過ごす場所づくりは、概ね達成できました。しかし、日中の支援だけでは十分ではなく、現状、地域生活の多くを家族が担っています。

切実な問題は
親亡き後を
どうするか



充実した創作や音楽活動

入浴から排泄、食事の介助など日常生活全般の支援、強いこだわりによる突発的な行動や、フラッシュバックによるパニック対応など、地域生活の多くを家族が担っています。行動に障がいがある子を持つ親は、みんな同じ思いがあります。他者に迷惑をかけるのではないか、公衆で大声を出すのではないかと心配は尽きません。しかし、そんなことよりも切実な問題は、親亡き後はどうなるのかということです。

令和5年度までに
地域生活支援拠点
等整備のはずが

厚生労働省が地域生活支援拠点等の整備を進める方針を示しています。

これは、障害の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた、居住支援のための機能です。

高千穂町の障害福祉計画においても、令和5年度までに西臼杵圏内で整備するとの記述はありましたが、整備されなかったことは、とても残念でした。



自家製唐辛子の原料も自家生産しています！

整備計画進むが
資材高騰



完成まで徹底管理
で作られています

現在は、三町の障害福祉関係者で構成されている自立支援協議会の中で、少しずつ整備が進められています。

一步会も、県の令和6年度社会福祉施設整備事業にて、ショートステイの機能を持つグループホームの施設整備申請をしました。

建築資材の高騰により、7床のコンパクトな施設ですが、見積額にびっくりです。(笑)



ばんざああああい

今後の目標

小規模作業所のスタートから20年が経ち、利用者さんの日中活動の場が年々、充実していきました。今後は居住の場を、みんなが安心して暮らしていける場に作り上げていくことが目標となります。

私たちは やるしかない

こつこつと生活介護事業を安定させ、準備を重ね、やっと次の事業展開ができる時がきました。今回の施設整備は、福祉計画における三町合意の整備ですが、先のことを考えると不安もあります。

でも、『私たちはや

るしかないのです。』
親亡き問題は、私たちにとって、避けられることではありません。

多くの親が
健在であるうちに

利用者の親の最年長は79歳、毎日、日之影分城から日之影駅まで全盲の娘さんを連れて来られます。

最近は体調不良を訴えられることもあり、ギリギリの状況だと感じています。

これは、直ぐに高千穂でも起こりうる状況です。

今回の整備で全ての利用者さんの問題は解決しませんが、少なくとも、みんなが宿泊を体験する場所が確立します。

多くの親が健在である今、事業所と一緒にご本人様の自立を目指していきたいと思っています。

◆取材を終えて
親亡き問題の現実を、真剣に考える機会を与えていただきました。共助と公助がいかに重要であるか我々議員をはじめ地域住民は考える必要があると強く胸を打たれました。

◆高千穂町精神・知的障がいのある人の状況
・年齢層別

R7.6/18 現在

種別	～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
精神	2	6	9	15	12	20	25	2	91
知的	17	24	19	28	26	26	21	8	169

※就労継続支援(A型・B型)とは
一般企業などでの就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う支援のこと。
A型(雇用型)は、利用者と事業者が雇用契約を結び一定の賃金水準のもとで、生産活動その他の活動の機会を通じて、知識や能力の向上のために必要な訓練を行うタイプ。 B型(非雇用型)は、能力に合わせた仕事内容と、支援のもとでの継続した就労の機会を提供するタイプ。

あらまし

会期 6/9 ▶ 6/19
報告 3件
議案 条 例 13件
補正予算 5件
その他 2件

議会のながれ

- 6/9 **本会議【開会】**
町長が議案を説明。
- 6/12 **本会議 P5**
【質疑・委員会付託】
議案について質疑。
審査を各委員会へ振り分け。
- 6/12 **常任委員会 P6-9**
2つの常任委員会（総務・文教）で議案を審査。委員会として賛否を採決。
- 6/16・17 **本会議【一般質問】**
議員が町政全般について質問。
- 6/19 **本会議【閉会】**
委員長から審査の経過・結果報告。
議案の討論・採決。

子育て支援充実を図る 給食費支援 保育料軽減

一般会計補正予算の主な内容

移住支援事業による移住支援金	590万円
定額減税不足額給付金※	4,250万円
環境に配慮した農業推進協議会補助金	512万円
高千穂峡乗合タクシー実証事業補助金	2,893万円
町内小中学校給食費2ヵ月分支援※	862万円
通信運搬費（中学校アンケート送料）	104万円
過年発生災害復旧事業	2億9,844万円

※ 物価高騰対策臨時交付金活用事業

令和7年度一般会計は、災害復旧事業費や物価高騰対策事業費など4億1,479万円を追加し、歳入・歳出それぞれ97億8,879万円となりました。

物価高騰対策事業は、国の事業である定額減税不足額給付金と、町の事業である町内小中学校の2ヵ月分の給食費を支援する事業です。

**小中給食費
2ヵ月分支援
862万円**
町内の小中学校の児童生徒の給食費2ヵ月分を支援します。財源は国から交付される物価高騰対策の交付金です。



栄養・愛情たっぷりの高千穂町の学校給食

国の物価高騰対策 定額減税の不足額を給付

4,250万円

国は令和6年度に定額減税を実施し、減税しきれないと見込まれる方について、早期に給付する観点から、見込み額を調整給付金として給付しました。

その後、令和6年分の税額が確定した後に、本来給付すべき額が、調整給付金を上回った方に対して、その不足額を追加で給付します。

条例改正 第2子保育料の負担 二分の一から四分の一へ

宮崎県が経済的負担の軽減を目的に、第2子保育料負担軽減事業を実施します。

それに伴い、本町の保育料条例の一部を改正し、0歳から2歳児の第2子の利用者負担額を二分の一から四分の一に軽減します。

なお第2子とは出生順ではなく、同時に保育施設等を利用している子どもの順です。



Check! 補正 乗合タクシー実証事業 閑散期の対応は

予算概要 乗合タクシー実証事業2893万円のうち2729万円は国の補助です。

平日でも第3大橋・第4押方駐車場の利用があり、高千穂峡中心部への交通手段が課題のため、民間による実証事業を実施します。

問 事業費のうち、車の購入費用は。

にも使用できるのか。

答 10人乗りの車5台を購入する。

料金メーター取り付けなど含め1台500万円、国から三分の二の補助がでる。

問 事業の主体は町で民間に委託するのか。

答 事業の主体は町内の民間事業者だが、国へ申請し補助を受けるのは自治体である必要がある。

問 補助で購入した車を、駐車場と高千穂峡の周遊以外



高千穂峡まで約1.7kmの第4押方駐車場

Check! 補正 中学校アンケート いつ、どのように



移転が検討されている高千穂中学校

問 中学校費において通信運搬費104万円が計上されている。

これは高千穂中学校の建設に関する中間報告会で説明のあったアンケートの経費か。

答 計画している中学校建設に関する18歳以上の町民の皆様を対象に行うアンケートの郵送費である。世帯ごとに郵送、返送するのに必要な額を計上している。

問 アンケートはいつ発送か。

答 現在、役場内のワーキンググループでアンケートの内容について検討中で、終わり次第、建設検討委員会に伺いを立て、その後に実施することになる。

要望 慌てる必要はないので、老若男女に丁寧で分かりやすいアンケートになるようお願いしたい。

Check! 条例 第2子保育料負担軽減 さらなる支援充実を

条例概要 0歳から2歳児の保育料は、国の支援により第2子は半額、第3子は無償です。

さらに県・町がそれぞれ保育料の八分の一を負担することで、第2子の保育料を二分の一から四分の一に軽減する条例改正です。

問 今回の条例改正により増える町の負担はどれ程か。

答 110万円程の見込みである。

問 日之影町では保育料が完全無償化となっている。

本町において完全無償化に取り組む考えは。

問 仮に、保育料を完全無償化しようと思うと、どれ程の負担になるのか。

答 1200万円程の負担になる。

答 支援が充実している中で日之影に転入したという事例も聞いた。

予算の都合もあり即答はできないが、子育て支援の充実は必要と考えている。



地域の宝である子どもたち

今年も東日本高千穂会に参加 農林水産大臣に要望書提出



1年ぶりの再会



役場職員が神楽を披露

1日目（4月13日）

場所：明治記念会館（東京都赤坂）

目的：東日本高千穂会に参加し、交流を深めるとともに、ふるさと納税、空家バンクへの協力依頼。

○具体的な取り組み

高千穂町の現況や、今取り組んでいる事業などの説明と、ふるさと納税の協力をお願いします。

○取り組みの成果

高千穂に実家があるが空家であり、維持管理に苦慮しているとの声を聞いた。空家バンク制度を広げるきっかけになると思われる。

○感想

継続的な交流により、ふるさとを想う気持ちの高まりを感じた。

2日目（4月14日）

場所：議員会館・農林水産大臣室（東京都）

目的：農林畜産業に対する要望書提出と意見交換

○具体的な取り組み

中山間地域の特性を踏まえた本町の農林畜産業の現状を伝え、改善を図っていただくよう要望。

○取り組みの成果

要望書の各項目について丁寧な回答をいただき、意見交換を行うことができた。

○感想

9時から15時まで、各要望内容に担当課長などに対応していただき、有意義な研修であった。

要望内容（抜粋）

- 1 持続可能な中山間地域農業の所得向上につながる施策を講じること。
- 2 棚田地域振興活動など、各種加算措置を恒久法として取り組むこと。
- 3 畜産農家の経営安定、国産牛肉の消費拡大に向けて取り組むこと。
- 4 災害復旧工事などについて中山間地域特有の条件不利を検討すること。



農水省畜産局との意見交換会

総務産業 委員会報告

総務産業常任委員会は総務課、財政課、総合政策課、税務課、町民生活課、企画観光課、会計課、農林振興課、農地整備課、建設課、上下水道課が所管する議案について審査しています。

条例 改正

災害による排水施設工事 町外指定業者も参入可能に



令和6年1月に発生した能登半島地震で排水設備などが多く破損し、被災地域の指定工事店も被災したため、復旧が遅れました。このことから、条例内に「災害そのほか非常の場合において、町長が他の市町村長の指定を受けた指定工事店に工事を行わせる必要があると認めるときは、ほかの市町村長の指定を受けた指定工事店が工事を行うことができる」と追記する条例改正です。

主な質疑
問 上水道工事はどうなるのか。
答 上水道は、他市町村からの応援を受けることができるようになっている。
問 本町の指定業者は何社か。
答 28社ある。
委員会からの意見
近隣市町村だけでなく、他県と協議し迅速な対応ができるよう協力体制を確立すること。

全員賛成で可決

条例 制定

観光振興のための 基金条例制定

昨年度末に、高千穂町観光協会から観光振興に役立てて欲しいと、1000万円の寄付がありました。このような用途指定の寄付金などを、観光振興事業に充てるために基金条例を制定するものです。

主な質疑
問 町の発展を総合的に考えると、地域振興基金と合わせて、多面的な活用も必要ではないか。
答 関係課との協議を検討していきたい。
委員会からの意見
ご厚意に応え、有効活用に努めること。

全員賛成で可決

その他

天岩戸あまてらす館 指定管理制度も活用

令和7年第1回定例会にて議決し、運営管理業務委託をした法人（一般社団法人いわとむら）と指定管理制度も活用します。これにより、指定管理者が持つ公の施設に関する使用の許認可などの権限が与えられ

者の裁量を増やすことができます。

主な質疑
問 契約は何年か。
答 5年であり、次回から10年となる。

全員賛成で可決

文化施設を拠点とした 交流施設を学ぶ

1日目(4月21日)

場所：岐阜市 みんなの森 ゑふメディアコスモス
目的：文化施設を拠点とした市民交流施設を学ぶ

○具体的な取り組み

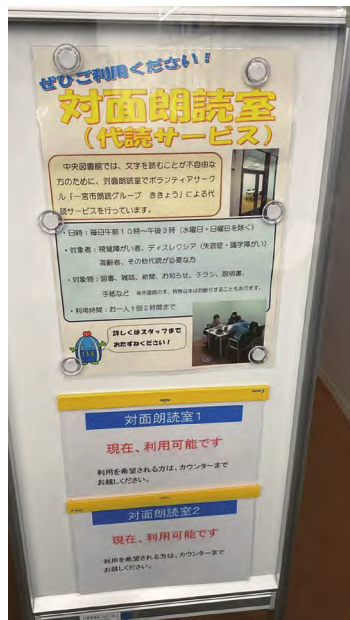
子供から高齢者まで幅広く利用できるように、市民活動交流センター、ギャラリー、図書館、ホールの複合施設

○取り組みの成果

世代を超えて利用者が多く、新しい賑わいの創出となる。

○感想

ぎふメディアコスモス応援寄附金を募り財源確保の努力をしている。市民が訪れたくなるように工夫を凝らした設計となっている。



視覚障害者朗読サービス



子供専用の読書場所

2日目(4月22日)

場所：愛知県一宮市 i (あい) ビル
目的：図書館、子育て支援、交流の場を学ぶ

○具体的な取り組み

図書館、子育て支援センター、多目的ホール、カフェなど多様な機能を組み合わせた複合施設

○取り組みの成果

駅と一体化し子育て世代には特に利用しやすい。

○感想

民間事業者と協力し、子育て支援が充実している。



下水道モデルの入り口

2日目(4月22日)

場所：名古屋市メタウォーター水道科学館名古屋
目的：SDGsを考えた下水道のしくみを知る

○具体的な取り組み

下水汚泥の再利用、災害対策・学校教育への参加

○取り組みの成果

下水道について市民の意識が向上。

○感想

下水道の老朽化対策だけでなく、災害対策や未来のエネルギー対策など子供から大人まで気軽に学習できる。

文教厚生 委員会報告

文教厚生常任委員会は、町民生活課、福祉保険課、税務課、教育委員会、保健福祉総合センターが所管する議案について審査します。

条例改正

寡婦医療費助成

対象を70歳未満に

現行制度の助成対象者は、ひとり親であった方で、子どもが20歳以上となった方です。年齢の要件はありませんが、子どもが20歳を超えてひとり親になった方との公平性と、助成事業を実施している県内の自治体は概ね60歳から70歳未満の方を対象としていることから、今回、対象者の年齢を70歳未満とするものです。

主な質疑
問 助成を行っている自治体で、年齢制限を設けていないのはどれほどか。

答 県内で助成を行っている自治体は14市町村で、年齢制限を設けていないのは本町を含めた2町村です。
問 助成費はどれほどで、対象者への周知は。答 月に1000円を超えた分の医療費の助成であり、周知については昨年、制度見直しの説明、意見交換を行い概ね理解いただいた。

委員会からの意見
今後、ひとり親の方々が公平に助成を受けられるように要望しました。
全員賛成で可決



ひとり親支援活動の
ひまわり会

健康づくりに役立つ公民館社会教育講座



里歩き教室



ヨガ教室

条例改正

国民健康保険税

年額3900円引き上げ

国は、被保険者の負担の公平性を確保するため、国民健康保険料水準の統一化を目指しています。
被保険者の負担は4方式(所得割・資産割・被保険者均等割・世帯別平等割)ですが、資産割を除く3方式に移行させるため、段階的に資産割の減額を行うものです。

主な改正内容は、被保険者数の減や医療費の増額などに伴う財源確保のため、被保険者均等割額について、年額3900円を引き上げるものです。
問 基金からの繰り入れはどれほどか。答 970万円程想定しています。

委員会からの意見
医療費抑制のため、健康増進の必要性を町民へ周知するよう要望しました。
全員賛成で可決

しんから聞くばい!!

6人が質問

【一般質問とは？】

一般質問は議員の日常活動や考え方にに基づき、町長もしくは教育長に対する質問の要旨をまとめ、指定日までに議長に通告します。

1人の制限時間は60分、一問一答方式で町長などの基本方針をたずねます。

町政全般について自由な質問が許された議員の権利で、町民の身近な課題や町政発展に関わる質問を活発に議論しています。

議会だよりは、誌面が限られており、原稿は1人600字以内に制限していますので、町民のみなさまの傍聴をお待ちしております。

目次

工藤博志議員・・・P11上段
・中山間直接支払の成果と今後は
・シニアカーに助成金を

板倉哲男議員・・・P12上段
・子どもたちの地域参画推進を
・中学校移転に子どもの声も

田中義了議員・・・P13上段
・本町の熱中症対策は
・水量の減少についての町の考えは

藤田利廣議員・・・P11下段
・公道の草刈り補助金増額を

磯貝助夫議員・・・P12下段
・九州中央道の残土受入れ先は

佐藤さつき議員・・・P13下段
・老朽化施設の整備状況は



くどうひろし
工藤博志議員

中山間直接支払の成果と今後は

町長 継続して支援を行う

問 中山間直接支払制度は今年度から6期目となる。集落協定の中には機械協同組合や集落営農組織、農業法人を立ち上げたところもある。それぞれの設立数は。

町長 集落営農組織は7つ、機械共同利用組合は11、集落営農としての農業法人は2つである。

問 交付金は一括ではなく、前期・後期など複数回に分けて交付できないか。

町長 町としても国・県からの交付金が入る前に交付するとなると厳しいため、従来通りとしたい。

シニアカーに助成金を 前向きに検討する

問 免許証自主返納者にシニアカー購入の補助事業が必要では。

町長 全国的に補助金制度が増えてきているので、前向きに検討する。



ふじたとしひろ
藤田利廣議員

公道の草刈り補助金増額を

町長 仕組み作りを協議する

草刈りも やおいかんばい



問 年2回の町道、農道、林道の草刈りが高齢化して町民は大変苦労している。また、生活道路も自分たちで守るぞという精神である。物価高騰による燃料の高騰などある。草刈作業の補助金を増額できないか。

町長 今のところ増額はできない。生活道路は自分で管理するのが基本であり、無理しない程度に継続して頂きたい。また、事業課の建設課・農地整備課・農林振興課で仕組み作りを協議していく。

問 除草剤を散布することで、作業の軽減が図れると思うが、検討できないか。

町長 相談があれば検討する。

問 まちづくり公社で、地区で元気にまだまだ働ける人を集めて、人材センターのような業務をする事業をできないか。

町長 令和6年度は町道岩戸・下野線を110区、280平方メートル実施した。本年度は未定である。

問 コンクリート工事の進捗状況は。

町長 まちづくり公社でも、検討をしている。

町長 パワーショベルは、農業機械としては補助しづらい。高額のため、集落協定の交付金を活用していただきたい。





いたくらつお
板倉哲男議員

子どもたちの地域参画推進を

教育長 取り組んでいきたい

問 子どもたちが地域や行政と関わることで、地域の一人員という意識が芽生え、将来地元に戻りたいという思いにもつながる。子どもたちの地域参画推進のため、子どもたちが考えた良いまちにするアイデアに予算をつけたり、子ども議会や子ども司書、子ども記者などの取り組みを行う自治体もあるが、本町でも導入を検討してはどうか。

発表で終わってしまうのがもったいない



子どもたちのアイデアを地域の大人に発表している様子（高千穂小）。

中学校移転に子どもの声も

教育長 小中学生にもアンケート実施

教育長 本町教育委員会は子どもの社会力を育てることに積極的に取り組んでいる。社会力とは「ひとつの社会を作り、その社会を維持し、運営する力」である。提案の件については、取り組んでいきたいと考えている。

問 高千穂中学校の移転新築の検討のなかで、今後、18歳以上の全町民にアンケート調査を実施することである。あわせて、当事者の意見を聞くという観点から、18歳未満の子どもの意見も聞いてはどうか。

教育長 昨今は校則や制服なども子どもたちの意見を取り入れている。中学校移転についても同様に、小中学生への自由記述式のアンケートを校内で実施し集約していきたい。



いそがいすけお
磯貝助夫議員

九州中央道の残土受入れ先は

町長 インターチェンジ付近を想定

問 九州中央道全線供用開始は、20年から30年先になると思うが、本町の関連事業も並行して進捗していく必要がある。五ヶ瀬・高千穂間はトンネルと橋梁の多い区間であり、多くの残土が出るが、残土の受け入れ先は。また、埋め立てる土地活用の構想は。



町長 残土の受け入れ先は新しく整備される高千穂インターチェンジ（仮称）付近を想定している。埋め立てた土地が地域経済の活性化に寄与し、町民にとって利便性の高い土地になるように活用を図りたい。

問 総合運動公園内への道の駅移転の要望もあるが、どう思うか。

町長 今後、立ち上げる検討委員会において、移転場所や運営方法など議論していきたい。

問 検討委員会の役割は。

町長 詳細な検討と比較、ニーズ調査を行い、まちなか複合拠点と新たな道の駅が連携して、地域活性化を図れるような基本構想の策定が、検討委員会の役割になる。



たなかよしりのり
田中義了議員

本町の熱中症対策は

町長 無線やLINEを活用

問 町民、観光客に対して、どのように熱中症警戒警報を呼びかけるのか。

町長 防災行政無線、町ホームページや町公式LINEを活用して呼びかける。



問 高齢者、障がい者の室内クーラー設置状況を把握しているか。

町長 また、設置費用の一部助成はできないか。

町長 昨年度に同様の質問をいただいたが、昨年度同様、個人宅設置状況は把握しておらず、設置補助も考えていないが、熱中症予防のチラシを公民館で配布した。

問 九州中央道のトンネル工事で湧水量に影響がないか懸念がある。

町長 昭和初期の写の滝の水量が豊富な写真も見受けられる。昔に比べると、町内どここの河川についても水量の減少があるように思う。直接的な影響については、正確にはわからないのが実情である。

町長 今年度より庁舎内で横断的な組織をつくり、複合化の検討に入る。

問 旧高千穂温泉施設は、令和3年に閉館後、利用者募集の不調や、施設改修に数億を要することから再利用されていない。解体しても5億、改修しても数億必要となることから、今までは何度も議会答弁において、高額な改修費を計上せず、再利用しない考えを通してきた。それは、町として固い決断だと考える。

町長 検討委員会の答申は、大変重く受け止めている。町民への丁寧な説明後、検討委員会の意見を伺う。

早急な対策が必要な
高千穂中学校



雨漏りする屋根



雨漏りする天井

公園化保留も高千穂鉄橋の保存は模索 重要文化財指定を目指す

鉄道跡地公園化事業については、令和5年3月定例会にて「町民の理解不十分で予算執行は尚早」とし、一部関連予算を議会において削除しました。その後、鉄道公園化に関する特別委員会を設置し、調査を継続しています。

令和7年3月14日に5回目の特別委員会を開催しましたので、その概要をお伝えします。

執行部からの説明

事業の保留表明後、文化財としての保存を検討し、文化庁の調査を打診していた。

令和7年1月30日に実現し、文化庁より2人、宮崎県より2人が来町し、高千穂鉄橋の現地視察及び調査が実施された。

重要文化財の「登録」については可能ではないかとの意見をいただいた。

その一方で、重要文化財の「指定」については、橋梁の構造や部材について、詳細な調査が必要になるとのことである。

まずは登録に向けた準備を進めている。

主な質疑

問 重要文化財の登録や指定は、いつごろ実現するか。

答 登録については、7年度中にも可能ではないかとのことだが、指定については、詳細な研究や専門家の意見が必要となるため、定かではない。

問 指定に求められる条件とは。

答 日本初や今と成っては復元できない工法、特殊な使用部材などであり、高さが東洋一などでは難しいようである。

問 指定のメリットは。

答 指定となると、文化財保存のため、文化庁より補助が出るが、登録は出ない。

問 指定にむけては調査が必要とのことだが、調査費用は町の負担か。

答 町の負担となり、どれ程かかるのかはわからない。

鉄道公園化に関する特別委員会の経過

<第1回 令和5年5月19日>

事業内容の明確化、町民の理解は得ているかや巨額の財政負担をどうするかなど、鉄道跡地公園化の課題について協議し、問題点の整理を行う。

<第2回 令和5年6月9日>

民間企業が参加したサウンディング調査の結果について説明を受ける。

<第3回 令和5年12月22日>

新たに取り組むサウンディング調査の状況や、工事費の内容変更について説明を受ける。

また、文化財として保存する検討についても意向を示す。

<第4回 令和6年3月4日>

サウンディング調査に参加した業者の意見内容や、文化財としての保存について文化庁と協議したいとの意向を示す。

また公園化事業の一旦保留を表明。



重要文化財の指定を目指す高千穂鉄橋

読者の ひろば

いただいたお便りから、誌面の都合上、その一部を要約し、掲載させていただいております。

ご意見ありがとうございました。

高千穂中学校の

早期建設を

近い将来、巨大地震が予測されています。

現在の高千穂中学校は危険箇所があるので、早期建設を望みます。

(60代 男性)

令和6年2月に、中学校移転新築検討委員会から、移転先候補地として、高千穂温泉跡地を選定するとの答申がありました。

その後、町内4団体より高千穂高校の空き教室を活用した移転の

要望がありました。

高千穂中学校は施設の老朽化や南海トラフ地震の可能性などを考えると、1日も早い移転を実現したいところです。

しかし、町としては、この件で町民を二分することにならないよう、時間をかけ丁寧な説明を重ねていくとしています。

現在、今後必要となる大型事業などを見込んだ長期的な財政見通しを整理中で、改めて検討委員会に開示し意見を伺うとのこと。

観光地として

魅力はあるか

観光駐車場の料金を値上げすることだが、それだけ観光地として魅力があるか心配。

(70代 男性)

令和6年度の観光客数は156万人で、過去2番目の多さでした。

しかし課題もあり、観光関連団体へのヒアリングでは「町内の交通手段がない」や「地元特産の土産がない」などの声がありました。

町は令和5年3月に観光に関する基本方針である観光マスタープランを策定しています。

その中で来訪者満足度を上げる取り組みとして、町内交通のあり方を検討していくとしており、その一環として、乗合タクシー実証事業(p5)に取り組むとのこと、その成果が期待されます。

表紙写真にたくさんのご応募ありがとうございました。

今回は4人4点の応募の中から厳選して紹介させていただきました。



「良く考えた退避場所」
みやがわけんそう
宮川憲三さん(岩戸)



「棚田の夕日」
さとうひさよ
佐藤久代さん(押方)



「防災ヘリあおぞら」
たかはしわたる
高橋涉さん(河内)

皆様からのお便り、
表紙用写真をお待ちしております。

● 郵送
〒882-1192
宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井13
高千穂町役場 議会事務局

お便りの様式は特にありません。

郵送、FAX、メールのいずれかの方法でご応募ください。

また、表紙用写真については応募規定がありますので、詳細については町のホームページか、右のQRコードをご参照ください。

● FAX 0982-73-1230
● メール gikai@town-takachiho.jp



表紙写真募集の
詳細はコチラへ

すてきな 働く女性



仕事について

親戚のお姉ちゃんが
病院の医事課に勤めて
いて、病氣の人に優し
く接している姿に憧れ
ました。

そこで医療関係の仕
事をしたと思うってた
ところ、調剤薬局事務
という仕事を知り専門
学校へ、医薬助手や登
録販売者などさまざま
な資格を取得しました。
そして卒業と同時に
地元高千穂のすずらん
調剤薬局に就職、今年



やまもと ゆみこ
山本由美子さん すずらん調剤薬局勤務

子育ては自分育て

で19年になります。
スタッフの皆さんに
恵まれて充実した日々
です。

私は小学生二人の母
親です。

毎日が慌ただしく過
ぎていきますが、親子
でバレーボールをして
いるので共通の話題も
あり、たくさん話をし
て楽しいです。
子育ては自分育てと
いいますが、子どもで

習字の先生

悩んだ分、親も成長す
ると感じています。
今、子育てを通して
私の両親はこんな思い
で育ててくれたのかと
感謝でいっぱいです。

今年から子どもたち
に習字を教えています。
私は、じいちゃんか
ら教えてもらいました。
今度は、私が教える
番になり、習字を教え
ると聞いたじいちゃん
もとても喜んでくれま
した。
子供たちを指導しな
がら教えることの難し
さと、楽しさを感じて
いて、改めてじいちゃ
んに感謝です。
子どもたちはすごい
です。
回数を重ねる度に上
達、その字を見ては感
動しています。
子どもたちの無限の
可能性とパワーに圧倒
される日々です。

冷たくておいしい～



議会に思う

今、頻繁に地震が起
きています。

子どもたちのために
一日も早く中学校を安
全な所に移転させて欲
しいです。

また熱中症対策で役
場に給水器を設置され
ている所があります。

高千穂町でもできな
いかと思います。



編集後記

議会だよりは、皆様
と町の未来を考えるた
めの大切な情報源です。
いつも読んでくださ
る皆様に感謝するとと
もに、今後も議会だよ
りを通じて町政への関
心が広がることを願っ
ております。

(T・I)

発行責任者

議長 坂本 弘明

議会報編集委員会

委員長 板倉 哲男

副委員長 中島 早苗

委員 本願 和茂

委員 磯貝 助夫

委員 佐藤 さつき

委員 藤田 利廣

どうぞ傍聴席へ

次の定例会は10月6日開会予定です。
傍聴の申し込みは、
お気軽に議会事務局に
お尋ねください。

TEL 73-1219

(議会事務局直通)

議会だより たかは No.127

2025年7月24日発行

(16)

この議会だよりは4,700部作成し、1部あたりの費用は約93円です。